



「誰か」のことじゃない ～人権週間～



いよいよ師走に入り、2学期も残すところあと1か月となりました。運動会や修学旅行、各学年の遠足、校外学習等、行事が多かった2学期でしたが無事に実施することができました。12月は2学期のまとめの時期となります。学習したことがしっかり定着しているか子ども達のノートやプリントに目を通していただくとともに、授業中の様子等も聞いていただきたいと思います。

さて、今年も人権週間が12月4日から始まります。啓発活動重点目標を「「誰か」のことじゃない。」として、啓発活動を展開することになっています。本校でも、「誰か」のことじゃなく、自分自身のこととして、一人ひとりが人権を尊重することの重要性を認識し、他人の人権にも十分配慮した行動をとることができるよう、人権に関する学習を行い、人権について考える機会をもちたいと考えています。

本校では11月30日の土曜参観に、各学年に応じた人権の授業を行いました。また、保護者学級では、難病で視力を失った元和歌山市役所職員の山崎浩敬さんを講師にお迎えして、ご講演いただきました。

みなさんは「バスが来ましたよ」という絵本を読んだことがあるでしょうか。目の病気から全盲になった男性が、地元小学生に助けられながら続けたバス通勤。「バスが来ましたよ」その声はやがて、次々と受け継がれていきます。温かい小さな手のバトン、小さな親切の物語です。このお話は、山崎浩敬さんの実話を元に絵本化されています。そんな山崎さんのお話は、温かく心が洗われた感じがします。人はひとりでは生きていけません。みんな、誰かのおかげで生きています。助け、助けられ、日々の生活を送っています。互いに認め合い、高め合える関係、心を温め合える人間関係を築いていければと思っています。

自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことが大切です。人権学習を通して、大切な自分の存在に気づき、周りの人との違いを認め、周りの人も自分と同じくらい大切な存在であると認識してくれることを願い取り組んでいます。ご家庭でも様々なお話をしていただき、人権について考える時間になればいいなと思います。

各学年・学級で、発達段階に応じて、大切なことは繰り返し言葉・表現を変えながら指導していきたいと思っています。ご家庭・地域におかれましても、同じスタンスで子どもへの指導にあたっていただければ幸いです。ご理解とご協力をお願いいたします。



「学校開放月間（きのくに学び月間）」のご参観ありがとうございました。

学校開放期間中、のべ120名ほどの保護者や地域の皆様が、来校してくださいました。

ありがとうございました。子ども達が落ち着いて学習に向かう姿や一生懸命に指導する先生方の姿をご覧いただけたことと思います。今後とも、子ども中心の学校づくりを行っていきます。皆様のご協力をよろしくお願いします。



12・1月の行事予定



12/4	水	いじめなくそうデー	1/6	月	始業式
6	金	市音楽会 5・6 年	8	水	いじめなくそうデー
7	土	うちどく	13	月	成人の日
9	月	クラブ	15	水	6 年劇団四季ミュージカル観劇
10	火	4年消防署見学 5年森林体験事後学習 6年板金ものづくり体験	16	木	5 年日鉄工場見学
12	木	6年葉の授業 ひまわり生き物観察会	20	月	クラブ(3年生見学)
13	金	4年音楽劇:たけのこタイム5・6年	23	木	6年和歌山高専出前授業(数字マジック)
14	土	子どもセンター:スノードーム作り	31	金	新入児説明会
16	月	4年音楽劇:たけのこタイム1・2・3年	☆各行事が変更・中止になることが あります。予めご了承ください。		
20	金	ALT			
24	火	終業式			



寒くなったせいででしょうか、あれだけ騒がせたイノシシ情報も最近ではめっきり聞かなくなりました。11月をふり返ってみると、色々なことがありましたが、個人的にはイノシシ関連が一番印象強い感じがします。私が生まれた新潟は、もっぱら熊の出没情報が多かったのですが、和歌山はイノシシなんですね。近隣の方とも色々なお話をしたのですが、意外だったのは小学校近辺では今までイノシシが出没していなかったということ。山東小学校は以前から出没していたとのことだったので、同じ山東でも西と東ではだいぶ違うのかなと思いました。来年も続くのかな、続くのやったらせっかくだし、猟友会に入りたいなと思ひ諸々いくらかいかるのか調べもしました。(妻には当然反対されました。)

このイノシシ、教材化・単元学習化できやんかなと考えてしまいます。今回のことで、警察の働き・行政の働き・猟友会(地域住民)の働きを知りました。学習指導要領に示されている、いわゆる「関係諸機関の連携」なのですが、教科書で学習するより、よっぽど切実感をもって子どもたちは学習できるのではないのでしょうか。警察の方・行政の方・猟友会の方がどんな気持ちで関わって下さっているのか。それを聞いた子どもたちはどんな想いを巡らせ、考えをもつのか。不謹慎かもしれませんが、子供たちにとってイノシシは自分事になり得る学習対象のような気がしています。

書きたいこと色々。

←子供に教えてもらった野草・ノビルです。ネギやタマネギ、ニンニクなどの仲間だそうです。知らなかった～ 今まではただの「雑草」だったものが、教えてもらってからは、もはや「食べ物」。見つけるたびに食べたくなります。ユーチューバーで野食ハンター「ホモサピ」さんがいます。子供の中にも見ている子がいて「あれ、うまそうよなあ」と言って盛り上がっています。



永山橋の川の中にショベルカーが入りました。子供に聞くと「洪水せんようにきれいにするんやで」と教えてくれました。おかげで永山川がきれいさっぱり。。。砂も水草もなくなりました。当然、カメもナマズも、そしてモクズガニも。。。楽しみにしていたのに。。。これも「行政の働き」じゃないです。